

晴れ着姿のまま跳ぶ半本選手(左)と川西選手(右) = 金沢東高校体育館



MROテレビで元日早朝に中継



インタビューされる半本選手(右)



サルに着ぐるみ姿の川西選手(左)

トランポリン アテネを目指し初跳び

金沢学院北國クラブの初跳びは一月一日、金沢東高

校体育館で行われ、アテネ五輪出場を目指す半本ひろみ選手や川西隆由樹選手らが国内トップレベルのトラ

ンポリンの妙技を晴れ着姿などで披露しました。初跳びの様子は、北陸放送テレビの元旦番組の中で全国に生中継で放送されました。

本学でセンター試験実施

平成十六年度大学入試センター試験が一月十七、十八日に行われ、金沢学院大学2号館の会場では、県立小松高校の生徒ら三百六十人が受験しました。

発行・広報室

本学で大学入試センター試験が行われるのは、本学が平成十年度募集でセンター試験利用入試を導入して以降、七回目となりました。

新学長に石田氏

金沢学院大・学院短大



宮本大学長



小堀短大学長



新学長の石田寛人氏

宮本学長は学園長に

小堀短大学長に名誉学長の称号

4月から

学校法人金沢学院大学の新しい学長に元科学技術庁事務次官、前チエコ大使、東京大学生産技術研究所客員教授の石田寛人氏(62)が就任することが、一月十五日に開いた理事会で決まりました。宮本匡章大学長は学園長に就き、退任する小堀為雄短大学長には名誉学長の称号が贈られます。

石田新学長の任期は今年四月一日から三年間となります。宮本学長は、四月から大学、短大、附属金沢東の教学部門を統括する常勤の学園長に就任します。任期は四月一日から二年間です。

金沢学院大、短大の学長が兼務となるのは、平成七年以来九年ぶりです。学園長の設置と併せ、大学、短

大および高校の教学部門の指導体制をより緊密化することで、少子化の進行など学校法人間の厳しい競争を勝ち抜く体制を取る狙いがあります。

宮本新学園長は、神戸大学大学院修了。大阪大経済学部長、高岡短大学長などを経て平成十年に金沢学院大教授に就任しました。同大学院研究科長、経営情報

飛田理事長が訓辞

平成十六年仕事始め式 学校法人金沢学院大学の平成十六年仕事始め式は一月六日、講堂で行われ、飛田秀一理事長が学生・生徒の確保と学内体制の見直しの重要性を強調しました。

金沢城周回の元旦耐寒継走 本学Aチームが最高の33位



出場選手と応援の教職員の皆さん

第六十六回石川県耐寒継走選手権は一月一日、金沢城を周回する三・五キロのコースで行われ、金沢学院大Aチーム(野口仁、望月輝、奥田浩、長尾準一郎)が55分50秒で過去最高の33位に入りました。Bチーム(奥井伸吾、細川亮弥、西川亨、島崎外志夫)は126位、Cチーム(福井尋一、望月ゆかり、望月弘中村)は159位でした。沿道には大勢の教職員の皆さんが陣取り、寒風をういて力走する選手に声援を送りました。